

# エコパルなごや

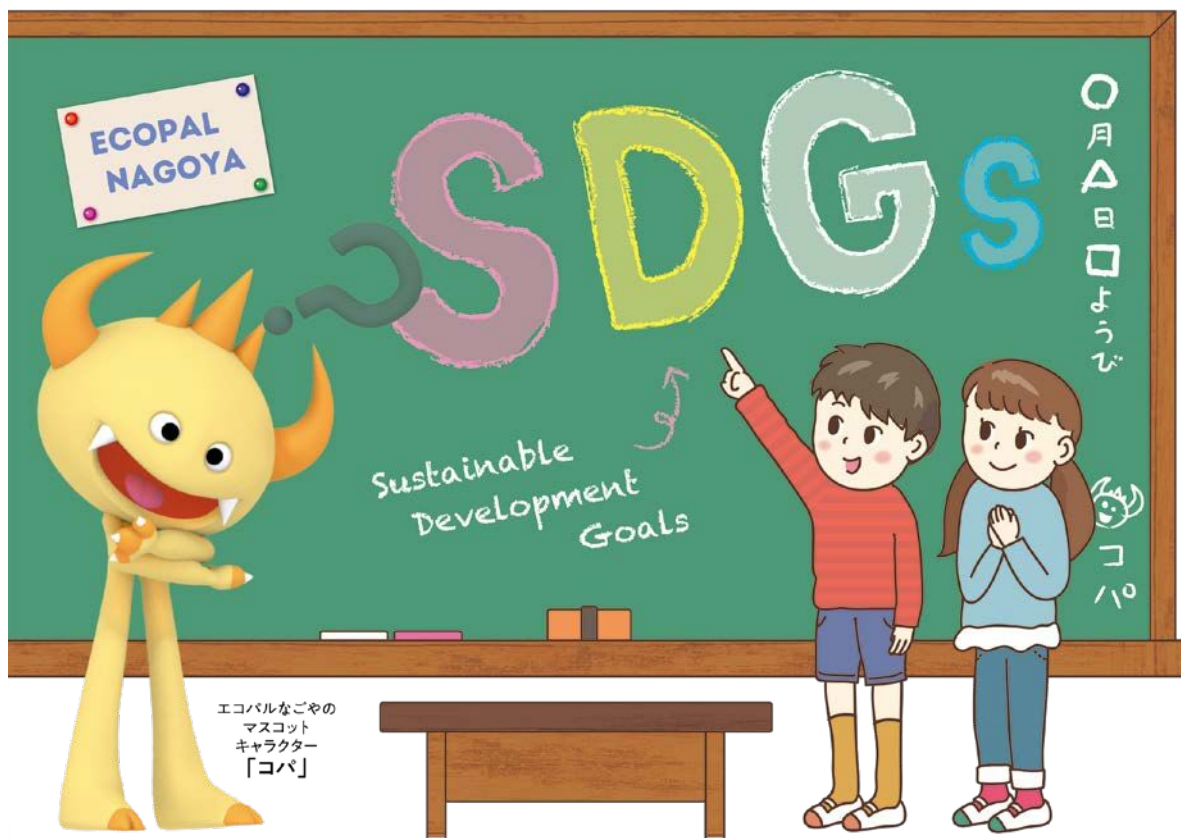
冬号  
Vol.101

かんきょうをたのしく学ぶ

とくしゅう  
特集

## エコパルなごやでSDGsについて かんが 考えてみよう

エコパルなごや（名古屋市環境学習センター）は、身近な環境から地球環境まで幅広く環境問題について考え、取り組みのための環境学習の施設です。環境問題に対する理解と認識を深め、環境にやさしい行動へと結びつけていくためのきっかけづくりを行っています。みなさんは、SDGsって知っていますか。SDGsの基本的な考え方である「誰ひとり取り残さない」、この考え方をふまえて、環境問題を知り、学び、考えて行動することが社会で求められています。さあ、これからエコパルなごやでSDGsについて考えてみよう。



エコパルなごやの  
マスコット  
キャラクター  
「コバ」

- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう

いろいろな話題をお届けします。

とくしゅう  
特集

## エコパルなごやでSDGsについてかんが 考えてみよう

エコパル  
NEWS

とくべつ  
特別ワークショップ、マンスリー企画展示  
かんきょうだいがく  
なごや環境大学、ふじまえひがた  
きかくてんじ  
藤前干潟ふれあい事業のご案内

# 1. どうしてSDGsが必要なのです？

みなさんは、自分たちの未来をイメージしてみたことがありますか。まず未来を考える前に今、世界で、さまざまな問題が起きていることを知りましょう。地球温暖化による気候変動の影響、貧困に飢餓、戦争・紛争、環境汚染、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行などによって、人と人、国と国との間にある経済的な格差も、さらに広がっています。世界では、9人に1人が常に栄養不足な状態で、さらに4人に1人が安全に管理された水を飲めない環境で暮らしています。日本は豊かな国ですが、日本の子どもの7人に1人が貧困な状態にあります。貧困がない社会、世界の国々の繁栄が未来へと続く社会、世界中で気候変動に取り組み、地球環境を守ることができる社会が実現できれば、人々は、明るい未来を感じることができます。

# 2. 持続可能な開発目標・SDGsとは

“2030年までに貧困に終止符を打ち、持続可能な未来を追求しよう”と2015年9月の国連サミットにおいて、持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable (サステナブル) Development (ディベロップメント) Goals (ゴールズ)を含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。SDGsとは、世界共通の目標として、健康や教育、経済成長、気候変動などに関する17の持続可能な開発目標と169のターゲットが設定されており、いずれも2030年までの達成をめざすものです。すべての関係者(先進国、開発途上国、民間企業、NGO(エヌジーオー)、市民、有識者など)の役割を重視し、「誰ひとり取り残さない」社会の実現をめざし、経済・社会・環境をめぐる幅広い課題に統合的に取り組むものとされています。

# 3. SDGsの2030年までに達成すべき17の目標とは

SDGsには17の目標がありますが、決められているのは目標だけです。目標に到達するための方法は、それぞれにゆだねられています。みなさんは、「まず、自分に何ができるのか考えること」、それがSDGsを達成するための行動の始まりです。みなさんの興味が高く目標を選んでみましょう。

SDGs17の目標	目標1 貧困をなくそう	目標2 飢餓をゼロに
目標3 すべての人に健康と福祉を	目標4 質の高い教育をみんなに	目標5 ジェンダー平等を実現しよう
目標6 安全な水とトイレを世界中に	目標7 エネルギーをみんなに。そしてグリーンに	目標8 働きがいも経済成長も
目標9 産業と技術革新の基盤を作ろう	目標10 人や国の不平等をなくそう	目標11 住み続けられるまちづくりを
目標12 つくる責任、つかう責任	目標13 気候変動に具体的な対策を	目標14 海の豊かさを守ろう
目標15 陸の豊かさを守ろう	目標16 平和と公正をすべての人に	目標17 パートナースhipで目標を達成しよう

# 4. エコパルなごやで環境について学び、SDGsについて考えよう。

エコパルなごやには、迫力ある映像を見ながら、タブレットを使って、楽しく学べるバーチャルスタジオ。ペットボトルやアルミ缶、間伐材などを利用して、工作体験ができるワークショップルーム。環境問題をテーマ別で考える、進んで調べ学ぶ展示室。名古屋のまちの環境がわかるコミュニケーションマップと環境年表。参考図書や環境に関するパンフレット等がたくさんある情報コーナーがあります。これからエコパルなごやの展示室の4つのテーマを紹介しながらSDGsについて考えてみましょう。



## テーマA 公害・環境保全

この展示コーナーでは、SDGs目標11「住み続けられるまちづくりを」をふまえながら、4つの学びで考えていきます。

1. 産業の発展と公害
2. 名古屋の公害
3. 公害問題への取り組み
4. わたしたちにできることは何だろう？



### 〈学びから気づいてほしいこと〉

都市のくらしは便利な一方で、人が集中することで、都市には、さまざまな問題が起こっています。公害のない環境の良いまち。健全な水の循環ができるまち。自然とふれあい自由に遊べる場所があるまち。まちを安全に歩くことができ、災害にも強いまちに住み続けたいね。みんなで力をあわせたらまちがもっとよくなるよね。

### ここで、SDGs目標11「住み続けられるまちづくりを」について〈世界の主な目標〉

すべての人が、安全で災害に強い持続可能なまちや住宅に住めるようにします。

**<日本の状況>**  
巨大地震の発生などが、心配されているほか、豪雨による被害が国内各地で生じています。

では、みなさんは、どんな行動をしてSDGsの目標11を達成

するのか、自分が今日からできることを考えてみましょう。

### <SDGs目標11の行動のヒント>

- 自分がどんなまちに住みたいか考える。
- 環境にやさしい交通行動「エコドライバー3か条」を守る。

## テーマB ごみ減量

この展示コーナーでは、SDGs目標12「つくる責任つかう責任」をふまえながら、4つの学びで考えていきます。

1. どうしてごみを減らさないといけないのだろう？
2. ごみ非常事態宣言とは何だろう？
3. ごみを減らしてどうなったのだろう？
4. みんなで循環型社会を目指そう！



### <学びから気づいてほしいこと>

食料品や衣料品、生活用品をたくさん生産するためには、大量の資源やエネルギーが必要となります。より豊かに生活したい、そのためには人は多くものを生産し、同時に多くものを捨てています。世界の9人に1人が、その日の食事にこまっているのに、日本では、1人あたり毎日茶わん約1杯分のごはんの量の食品を捨てています。地球の資源には限りがあります。ごみを処理するに

は、たくさんのお金が必要となります。また、ゴミを燃やした灰を埋める処分場にも限りがあります。ポイ捨てや雨や風で川から流されたプラスチックごみは、海へ流れ、海を汚し続けています。2050年には、海の中をただようプラスチックごみは、魚の数より多くなるといわれています。わたしたちは、「ものをつかう責任」が求められています。いつもごみを減らすことを意識して行動する(Reduce)、ものをくり返し使う(Reuse)、ごみを分別して資源として再利用する(Recycle)ことが大切です。

### ここで、SDGs目標12「つくる責任つかう責任」について

#### <世界の主な目標>

廃棄物を減らすため、持続可能な方法で生産し、消費する形態を確保します。つくる人もつかう人も、全員が意識して、自然と調和した生活を送るようにします。

#### <日本の状況>

家庭や店舗から出ている食品ロスは、日本国内で年間約643万トンにのびります。(1人1日当たり約139g)

では、みなさんは、どんな行動をしてSDGsの目標12を達成するのか、自分が今日からできることを考えてみましょう。

### <SDGs目標12の行動のヒント>

- 自分が食べ残しをしない方法を考える。
- 「フードドライブ」について家族で話し合い、参加する。
- 「エシカル消費」にこころがける。
- マイバッグをいつも使い、地域の清掃活動に参加する。
- ゴミをしっかりと分別する。

## テーマC 生物多様性

この展示コーナーでは、SDGs目標14「海の豊かさを守ろう」、SDGs目標15「陸の豊かさを守ろう」をふまえながら、4つの学びで考えていきます。

1. 生物多様性とは何だろう？
2. どうして生物多様性が大切なのだろう？
3. 生物多様性の危機とは何だろう？
4. わたしたち人間に何ができるのだろう？

### <学びから気づいてほしいこと>

わたしたちの暮らしに必要な食べ物、家や紙をつくるための木材、服や薬の材料などは生物多様性もたらす恵みです。森林は雨水をたくわえて洪水などの災害を防ぎ、浄化した水を供給してくれます。生物多様性の恵みの多くは、外国から輸入される食品やエネルギー、つまり世界の生きものに多くを頼っています。知らず知らずのうちに現地の生物多様性や、そこに住む人々の生活や環境に影響を与えているかもしれません。例えば、アブラヤシの実からとれるパーム油は、お菓子やパンの加工食品、洗剤や石

けんなどの製品に使われています。パーム油の生産地の東南アジアでは、農園開発のために森林破壊が進みました。海の問題では、食用の魚や貝の約3分の1がとりすぎている状態にあって、この先、食べられる魚は減り続け、いずれ絶滅してしまうかもしれません。また、プラスチックごみで海の生きもののいのちを脅かしています。生物多様性は、人間だけでなく、地球上の生きものが命を維持していく上で、とても大切な働きをしています。地球環境は、個性豊かな生きものたちが互いに関係しながら支え合う生物多様性の上に成り立っていることを忘れてはなりません。そのためにも、海や海の資源を守ること。森林をきちんと管理し、砂漠化を防ぐこと。多様な生きものが生きられるように、みなさんが生活のなかで、「生物多様性を守ること」を意識して行動することが必要です。

## ここで、SDGs目標14「海の豊かさを守ろう」について

### 〈世界の主な目標〉

海や海の資源を守り、持続可能な形で利用します。

### 〈日本の状況〉

2019年に開催されたG20大阪サミットにおいて、世界共通のビジョンとして、2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロにすることをめざす「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を共有しています。

では、みなさんは、どんな行動をしてSDGsの目標14を達成するのか、自分が今日からできることを考えてみましょう。

### 〈SDGs目標14の行動のヒント〉

- ・使い捨ての商品をなるべく使わない。
- ・海の環境を守るラベルつきの商品を買う。
- ・藤前干潟ふれあい事業に参加する。
- ・マイバッグをいつも使い、地域の清掃活動に参加する。

## ここで、SDGs目標15「陸の豊かさを守ろう」について

### 〈世界の主な目標〉

陸の生態系を守り、持続可能な形で利用し、森林をきちんと管理し、砂漠化や干ばつなどにより土地が悪くなることを食い止めます。外来種の侵入を防止するとともに、外来種による陸域・海洋生態系への影響を減らすための対策を導入します。

### 〈日本の状況〉

日本の野生生物の約3割が絶滅の危機にひんしています。

では、みなさんは、どんな行動をしてSDGsの目標15を達成するのか、自分が今日からできることを考えてみましょう。

### 〈SDGs目標15の行動のヒント〉

- ・生きものの観察や自然観察など、生きものや緑に親しめる活動に参加する。
- ・森の環境を守るラベルつきの商品を買う。
- ・フェアトレードについて興味を持ち、その商品を買う。

## テーマD 地球温暖化

この展示コーナーでは、SDGs目標13「気候変動に具体的な対策を」をふまえながら、4つの学びで考えていきます。

1. 「地球温暖化」とは何だろう？
2. 温室効果ガスはどうして増えたのだろう？
3. 地球温暖化が進むとどうなるだろう？
4. わたしたちにできることは何だろう？



### 〈学びから気づいてほしいこと〉

現在の地球は、産業が急速に発展し始めた100年ほど前から平均気温が1.2℃上昇をしています。火力発電、工場での生産活動、自動車や飛行機を使った人の移動、人間のさまざまな活動での化石燃料の使用の影響によって、温室効果ガスと言われる二酸化炭素やメタン等の大気中の量が増え、地球温暖化が進んでいます。人は自分たちの都合で、より豊かに、便利に生活するために限りある地球の資源を大量に消費して、さらに二酸化炭素を吸収してくれる森林の破壊を行い、地球環境のバランスを崩してしまいました。この先、何も対策をしなければ、

温暖化は加速し、2100年までに気温は4.8℃上がるという予測もあります。温暖化が原因とされる異常気象によって、海面の上昇、自然災害の増加、陸や海の生態系の変化など、地球環境への悪影響が生じています。

## ここで、SDGs目標13「気候変動に具体的な対策を」について

### 〈世界の主な目標〉

地球温暖化などの気候変動や、それによる異常気象や海水面上昇などの影響を少なくするため、緊急の対策をします。すべての国で、自然災害に対する備えを強化します。

### 〈日本の状況〉

日本の平均気温は、1898年以降では、100年当たりおよそ1.2℃の割合で上昇しています。

では、みなさんは、どんな行動をしてSDGsの目標13を達成するのか、自分が今日からできることを考えてみましょう。

### 〈SDGs目標13の行動のヒント〉

- ・地元産の旬な野菜を率先して食べる。
- ・電気やエネルギーの節約をする。
- ・緑のカーテンなど緑を増やす活動に参加する。
- ・COOL CHOICE（クールチョイス）を意識して生活する。
- ・海や陸の生きもののことを考えて、地球にやさしい生活をする。
- ・ゴミを減らすことをいつも意識して行動する。
- ・自転車や公共交通機関を使って出かける。

エコパルなごやの4つの展示、公害・環境保全、ごみ減量、生物多様性、地球温暖化をまわって考えてみたら、SDGsの目標につながりがあることが発見できましたね。さらに、ゲームや動画などを通じて楽しく学べるウェブサイト「なごやSDGs街（エスディー・ジーズ・マーチ）」のSDGsフィールドに、エコパルなごやが紹介されていますので、この機会に、コパと一緒にSDGsをたくさん学んでね。

なごやSDGs街へは  
ここからアクセス！



## 5. みんなが幸せに生きる未来のためにできること。

ひとり一人が自分なりに、SDGsの目標達成のために、「自分だけの目標」を決めて「自分ごととして行動すること」が大切です。

# エコパルNEWS

## 3館コラボ企画 伏見サイエンスエリアに行こう!

2月12日(土)、13日(日)は、エコパルなごや・名古屋市科学館・でんきの科学館の3館がコラボして、この期間だけの特別な実験ショー、ワークショップなどを行います。エコパルなごやは名古屋市科学館とでんきの科学館で出張ワークショップを行うので、ぜひ遊びに来てください!!

### ペーパービーズを使ったブレスレットづくり

**日時** 2月12日(土) 10:30~12:30、14:00~16:00  
13日(日) 10:30~12:30、14:00~16:00

※受付各回終了15分前まで  
※材料がなくなり次第終了します

**会場** 【12日】 でんきの科学館 2階 サイエンステラス  
【13日】 名古屋市科学館 理工館 3階 創造のひろば

**対象** どなたでも  
**費用** 無料 (名古屋市科学館は入館料が別途必要)  
**内容** チラシで作ったペーパービーズを使って、カラフルで可愛い自分だけのブレスレットをつくろう!



3館コラボのワークショップで作った作品(ペーパービーズのブレスレット)を持ってエコパルなごやへ行こう!

※ 詳しくは当日のスタッフまでお尋ねください  
※ プレゼント内容は予告なく変わる事があります



## マンスリー企画展示

**1月**  
テーマ **家電リサイクルに関する展示**

**出展者**

グリーンサイクル株式会社

**内容**

家庭や事業者から排出された家電製品(エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機)がどのようにリサイクルされ、資源として生まれかわるかの展示を行います。

**2月**  
テーマ **第16回 環境絵画コンクール 入賞作品展示**

**出展者**

パナソニック エコシステムズ株式会社

**内容**

子どもの頃から「環境」について考える習慣を身につけてもらうために小学生を対象とした環境絵画コンクールを開催しています。「きれいな空気・水と生きもの」をテーマに全国の小学生から1,319点の応募をいただき、その中から11点の入賞作品の展示を行います。子どもたちのすばらしい着眼とメッセージをぜひご覧ください。

**3月**  
テーマ **花王国際こども環境絵画コンテスト・入賞作品展示 子どもたちと考える地球の未来**

**出展者**

花王グループカスタマーマーケティング株式会社

**内容**

世界の子どもたちが、身近な生活のエコと地球の環境・未来について、真剣に考えて表現した作品展示を行います。

### エコパルなごやのメールマガジン「エコパル通信」のお知らせ

エコパルなごやのイベントや展示情報、なごや環境大学の講座情報など最新情報をタイムリーにお知らせします。エコパルなごやウェブサイトのトップページ「エコパル通信」の登録フォームにメールアドレスを入力すると登録できます。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定が変更・中止になる場合があります。最新の情報は、エコパルなごやのホームページをご覧ください。



# なごや環境大学

開催中

くわしい内容やお申込み方法は、なごや環境大学ウェブサイトからご覧いただけます。



## 企業向けSDGsオンラインセミナー SDGs実践企業から学ぶ

SDGsへの取り組みについて具体的な事例を通じて紹介します。SDGsに関心のある方ならどなたでも参加できます。



第3回 新たな事業機会の創出

第4回 経済からみたSDGs

日時 第3回/1月21日(金)・第4回/2月25日(金)

時間 14:00~15:00

会場 オンライン 定員 100名 費用 無料

講師 第3回/後藤 裕一(株式会社大副 代表取締役)

第4回/加藤 康博(名古屋市信用保証協会 企画経理課長)

申込先 「なごや環境大学」実行委員会事務局

TEL / FAX 052-223-1223

メール webinar@n-kd.jp



## 「なごや環境ハンドブック」 から考えるこれからのこと

地球規模で見る環境、わたしたちの暮らすまち、なごやの環境の現状を学び、SDGsとも関連づけ、未来にどんな世界を創りたいかを、発行されたばかりの「なごや環境ハンドブック」を活用して考えます。



第2回 Act Local ~なごやの環境を知る~

第3回 未来を描こう!だれひとり取り残さないなごやへ!

日時 第2回/1月15日(土)10:30~12:00

第3回/2月12日(土)10:00~12:00

会場 エコパルなごや 定員 50名 費用 800円

講師 第2回/小出 恭司(「なごや環境大学」実行委員会 事務局次長)

第3回/なごや環境ハンドブック編集チーム

申込先 「なごや環境大学」実行委員会事務局

TEL / FAX 052-223-1223

メール jimju@n-kd.jp

※全3回(12/4、1/15、2/12)です。個別受講歓迎ですが、シリーズを通して「なごや環境ハンドブック」を使用するため、1回の参加でもテキスト代一部負担800円となります。



## 藤前干潟ふれあい事業のご案内



### (1) 「サイエンスカフェ~動物目線で探る海の環境~」

日時 2月26日(土)13:30~15:00

受付 1月12日(水)~

対象 どなたでも(小学生は保護者同伴)

内容 ウミガメ等の動物から海の環境を考えてみよう!

定員 50名程度(先着)

会場 エコパルなごや

申込方法 メール、電話、FAXにて申込先へ下記①から④の事項をお伝えください。

必要事項 ①催し名 ②参加者全員の氏名(小学生の場合、学年も記入)③電話番号(日中連絡のとれる番号)④住所

申込先 藤前干潟ふれあい事業実行委員会 〒460-0008 名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ13階エコパルなごや内

TEL 052-223-1067

FAX 052-223-4199

Eメール ecopal@n-kd.jp



藤前干潟ふれあい事業の  
YouTubeチャンネルを  
作成しました!

藤前干潟のイベントや  
いろんな動画をアップしていくよ!



### 藤前干潟はラムサール条約登録20周年!



藤前干潟は庄内川・新川・日光川の河口部に位置し、シギ・チドリ類やカモ類等の渡り鳥の重要な中継地であり、生き物豊かな干潟です。2002年11月18日に「国際的に重要な湿地」に登録されました。藤前干潟は今年2022年にラムサール条約登録から20周年をむかえます! 11月を中心にさまざまなイベントを企画していくので、続報をお楽しみに!

藤前干潟  
ふれあい事業  
開催情報は  
こちらから



## 名古屋市環境学習センター エコパルなごや

申込・問合せ先

TEL : 052-223-1066 FAX : 052-223-4199

http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/ecopal/

E-mail : a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号  
伏見ライフプラザ13階

地下鉄東山線・鶴舞線の伏見駅「6番出口」徒歩7分

■開館時間/午前9時30分~午後5時 ■入館料/無料

■休館日/毎週月曜日 祝日の場合はその翌平日

年末年始 12月29日~1月3日

エコパルなごや



(消防署があるビル13階)

